鳥取市
SQのあるまち

きぼうさちゃん　ふたこぶさん
鳥取市 認知症本人の声活動応援隊長

記者発表資料	
令和７年４月４日	
担当課 （担当）	中央包括支援センター （藤木）
電　話	30-8215（内線 7440）

認知症本人の意見や提案を反映した「鳥取市認知症施策推進計画」がスタート！

この計画は、すべての市民が、認知症を自分ごととして捉え、**新しい認知症観**※1 を持ち、理解し実践する「認知症になってからも自分らしく暮らし続けることができる鳥取市」をめざすすがたとしています。計画に定める施策には、認知症本人や家族の暮らしの中での経験をもとにした意見や提案を反映しており、「**鳥取市認知症施策推進計画策定ワーキンググループ**※2」において、認知症本人の声を聴き、対話しながら一緒に策定したものです。

※１「新しい認知症観」とは
　認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方
（国の「認知症施策推進基本計画」より）

※２ ワーキンググループのメンバー
認知症本人、パートナー（家族・友人等）、介護事業所、企業、医療機関、地区医師会、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）、地域包括支援センター認知症地域支援推進員 等

１　取組の目標

①認知症であることや、自分の思いを必要な人に伝えることができる
②本人同士が出会い・つながり、経験や工夫を活かしながらやりたいことに挑戦し続けることができる
③自分自身の暮らしのさまざまな場面でかかわる人とともに考え、暮らしやすい環境を創ることができる
④自分自身にとって前向きになれるような良い情報を入手し、心身の状態・住まいの場所にかかわらず自らの意思で決めることができる

２　具体的な取組

○鳥取市認知症フォーラムや認知症本人ミーティング等の開催、認知症サポーター養成講座をはじめとした多様な学びの場の提供、本市公式ウェブサイト、SNS 等による情報発信
○各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が、「各地域で具体的なアクションを考え、実践する」ことに向けた働きかけ

３　取組の推進体制

認知症本人をはじめとした多様な立場の人が参画する「鳥取市認知症施策推進ワーキンググループ（仮称）」において、取組を評価・検証するとともに、認知症本人の声を起点とするこの計画に基づく施策等を推進していきます。